

地域包括支援センターの運営状況及び評価について

地域包括支援センター運営状況

1. 介護予防ケアマネジメント

(1) 新予防給付利用者数

27年度は、年度当初 7,803 人の利用者数から、年度末の 8,088 人に増加している。(285 人増 (+3.7%))

(2) 介護予防サービス計画作成の委託状況

27年度の介護予防サービス計画の委託率は、28.3%。15.0%～74.9%まで、委託率に開きがある。

(3) 介護予防サービス計画における同一法人紹介割合

同一法人の事業所利用割合が 70%を越えた地域包括支援センターが 2ヶ所あった。

2. 総合相談支援・権利擁護

(1) 相談件数

27年度の相談件数は、104,071 件 (9,033 件増 (+9.5%))

介護保険に関することのほか、在宅福祉・生活支援に関すること、保健医療に関する相談が多い。

(2) 相談内訳

①介護保険に関すること

相談件数が増加している。特に、サービス内容に関する相談の伸び率が高い (+9.9%)。

②権利擁護に関すること

相談件数が増加している。虐待への対応 (145 件増)、困難事例への対応 (159 件増) が増加している。

③相談者の内訳

本人、配偶者、子供のほか、事業者・施設等、ケアマネジャーからの相談も多い。

④対象者の年齢

70 歳代の相談から多くなり、80 歳代の相談件数が最多。

⑤事業別相談件数とサービス適用数

サービス適用に繋がらない相談も多いが、相談件数は多く、各事業の制度広報も兼ねた相談窓口としての役割を果たしている。